

6月定例報告

市長総括説明から

6月1日、平成24年第2回市議会定例会を開会しました。交通安全事故多発非常事態宣言発令やNOMOベースボールクラブの誘致などについて報告した後、当面する市政の諸課題ならびに提出議案の主なものについて説明しました。その概要をお知らせします。

安全に安心して暮らせるまち

○円山川緊急治水対策事業

八代排水機場は6月に竣工、奈佐小橋下流から結和橋付近までのパラペット1期工事は来年度完成予定です。

○除雪機緊急整備事業補助金の創設

区が除雪機を購入する際に、除雪機1台につき150万円を限度に、補助対象額の3分の2を補助する制度を創設しました。

○東日本大震災により発生した災害廃棄物受け入れ検討

県から各市町に岩手県と宮

城県の災害廃棄物(可燃ごみ)処理の協力要請がありました。受け入れの目安は、放射性セシウム濃度が災害廃棄物1キログラム当たり1000ベクレル以下、これは一般食品安全基準と同じです。また、埋立処分は焼却灰1キログラム当たり2千ベクレル以下です。

平成16年の台風23号の災害廃棄物を他市町に引き受けていただいた本市は、①清掃センターの地元の合意が得られること、②県等が仮置場を設置し、そこから搬入する広域処理体制を整えること、③焼却灰の処分がひょうご環境創造協会等で行えること、を条件に挙げ、処理余力の1日当たり10トンの受け入れを検討する用意があると回答しました。

○災害時指定避難所の見直し  
現在の244カ所の災害時指定避難所を安全性から見直し、指定避難所は風水害が191カ所、地震が216カ所となりました。

○豊岡市暴力団排除条例の制定  
今議会に豊岡市暴力団排除条例案を提出しています。本

条例の施行に併せ、豊岡南・北警察署と暴力団に係る相互の連絡協議体制を確立する合意書を取り交わします。

○「歩いて暮らすまちづくり条例」の健康づくり推進モデル地区の選定  
健康づくり推進モデル事業は、健康づくりの取組みを地域を挙げて継続的に行う区を募集し、活動を支援するとともに必要なデータを収集・分析して、その成果を全市的な健康づくりに役立てるものです。モデル地区に、西花園区、下陰区、竹野町桑野本区および日高町岩中区を選定しました。

○豊岡市国民健康保険税条例の一部改正  
税額の決定に当たっては、前年度繰越金の半額に当たる2億5894万6千円に加え、国民健康保険財政調整基金から2億円を充当します。その結果、被保険者1人当たりの国保税額は、基礎課税分、後期高齢者支援金分、介護分を合わせて9万7023円で、昨年度と比較して1・32パーセントの伸びとなります。

○ラムサール条約湿地登録  
国の中央環境審議会で、「円山川下流域・周辺水田」が、新たにラムサール条約の登録に向かう国内湿地9カ所のうちのひとつとして報告されました。7月6～13日にルーマニアで開催されるラムサール条約第11回締約国会議で認定証が交付される予定です。

また、7月22～29日を「ラムサールWETLAND」として、地域の自然や文化を見つめる啓発事業を行う予定です。

○大規模太陽光発電事業  
環境都市「豊岡エコバレー」のシンボルとして、再生可能エネルギーの地産地消を進め、エネルギー利用の多様化を促進するため、メガソーラー発電事業に取り組みます。大規模太陽光発電事業の業務委託契約は株式会社カネカと締結します。工事は、7月着手の予定です。

また、売電収入は市の環境施策の財源に充てます。

○豊岡エコポイント  
環境を意識した行動を全市的な運動へと展開させるための動機付けとして、豊岡エコポイント制度を7月から実施

します。市民エコポイントと企業エコポイントがあります。

○北但ごみ処理施設整備事業  
事業認可区域8・8ヘクタールの用地取得を完了しました。また、県が被告の「都市計画法に基づく事業認可取消請求事件」について、本市などの構成市町は、都市計画決定を行った行政庁として訴訟参加が許可された後、県や組合などと連携して対応します。

○騒音・振動・悪臭の規制区域および規制基準の見直し  
騒音規制法、振動規制法および悪臭防止法が4月に一部改正され、騒音・振動・悪臭の規制区域および規制基準の設定権限が、県知事から市長に移譲されました。騒音・悪臭については事業所等に与える影響が大きいため、今回は振動規制のみ見直します。

○豊岡第2清掃センター  
豊岡第2清掃センターは、平成12年で埋め立てを終了した最終処分場ですが、浸出物が廃棄物処理法等に基づく施設廃止基準を満たしていないため、今も適正処理して放流しています。調査、分析によ

り、主要埋立物の焼却灰に含まれるアルカリ成分が保有水に溶出して浸出水が高アルカリ化していることが分かっています。そこで、本年度、集排水設備を設置し、内部保有水の水位の低下を図り、浸出水の高アルカリ化を抑制します。

### ■持続可能な「力」を高めるまち

#### ○神鍋地域の活性化

神鍋地域の活性化を図るため、日高町観光協会が「神鍋地域活性化計画」策定を考えられており、市は取組みを支援する予算を提出しています。

#### ○中心市街地活性化事業

豊岡まちづくり株式会社や豊岡商工会議所、市などが、中心市街地の活性化を図る「カバン・アルチザン・スクエア事業」を検討しています。市は、この事業の初期投資を支援します。

南庁舎別館については、建物の文化的な価値を生かしながら中心市街地の新たなにぎわいの場を創出できる整備構想を策定します。

#### ○北近畿豊岡自動車道

北近畿豊岡自動車道の八鹿

日高道路と日高豊岡南道路は、5月に起工式を行いました。八鹿氷ノ山インターチェンジから(仮称)豊岡南インターチェンジまでの用地は、土地売買契約が進められており、用地取得できた地区から随時工事着手すると聞いています。

#### ○北近畿豊岡自動車道の延伸に伴う誘客促進の取組み

西日本の主要なサービスエリア・パーキングエリア177カ所や西日本地域の道の駅など計約800カ所に設置されているフリーパーパー「遊悠ウエスト」に、豊岡自動車道の延伸情報と豊岡の魅力的な観光情報を掲載し、誘客拡大を図ります。

#### ○魅力ある景観形成の取組み

景観法に基づく景観計画は、7月末までに計画策定する予定です。

また、豊岡固有の景観の保全・育成・創造により、市の魅力と活力を高め、次世代に継承するため、豊岡市景観条例案を提出しています。

#### ■未来を拓く人を育むまち

#### ○港地域の認定こども園の位置決定

認定こども園を港東幼稚園

に設置することとしました。今後、来年度の開園に向け、説明会や施設整備を行います。

### ■市政の運営

#### ○城崎温泉総合まちづくり計画策定事業

「城崎このさき100年会議」が中心となり、総合的、専門的にまちづくりを行う法人組織を立ち上げ、「(仮称)城崎温泉タウンマネジメント委員会」を設置して、まちづくり計画を策定します。市は、計画策定経費を補助します。

#### ○新庁舎建設事業

現本庁舎は、4月末で曳家工事が完了し、今後、1、2階の補強・補修工事、3階部分の解体・復元工事や外壁の補修工事を行います。

新庁舎は、7階建ての躯体工事に入ります。

#### ○指定管理者制度

第2次行政改革大綱による社会体育施設の指定管理者制度への移行の検討を受けて、植村直己記念スポーツ公園、出石総合スポーツセンター、出石B&G海洋センター、および出石多目的屋内運動場を移行対象とします。関係条例の改正案と債務負担行為の

設定の補正予算を提出しています。

また、城崎温泉駅前駐車場、城崎鴻の湯駐車場および城崎木屋町駐車場は、来年4月から指定管理者制度に移行することとし、関係条例の改正案を提出しています。

#### ○使用料の見直し

来年度に予定している公共施設の使用料全体の見直しに先行して、市および市教育委員会が後援した団体が公共施設を利用する場合の減免等の取り扱いを検討します。

#### ○定住自立圏構想における圏域形成方針の策定

定住自立圏構想については、圏域の形成を但馬区域における取組みと豊岡市区域の取組みを合わせて進めています。本市区域の圏域形成方針の策定案を先行して提出します。

#### ○東日本大震災被災地支援

また、会期中に但馬区域の定住自立圏の形成協定案を提出します。

#### ○東日本大震災被災地支援

東日本大震災被災地支援を継続的に行います。

広く市民、団体にも呼び掛けて、それぞれができることを持ち寄り、3年程度の豊岡

の「被災地支援計画」としてまとめ、被災地へのメッセージにしたいと考えています。

行政としては、「被災地へ行く支援」、「被災地に送る支援」、「被災地から買う支援」を展開します。また、現地のニーズ等を的確に把握するため被災地に職員を派遣し、宮城県南

三陸町を中心に支援を行いましたと考えています。

#### ○いのちへの共感に満ちたまちづくりに関連した事業

不妊治療の1年度当たりの助成上限額を10万円から20万円に引き上げます。

また、イラストレーター・グラフィックデザイナーの黒田征太郎氏を招き、いのちについて考える取組みを実践している子どもたちとの座談会やライブペインティングなどを実施します。

#### ○平成24年夏期節電対策

市は、今夏節電対策として、豊岡市地球温暖化防止対策実行計画推進と強化、節電意識の継続、および電力料金の軽減とCO<sub>2</sub>削減量の拡大を図ります。市役所の節電目標は、事務所使用分を平成22年度比15パーセント減としています。

※市ホームページに「市長総括説明」の全文を掲載しています。